

事業計画の概要を記載した書類

1. 事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）

2. 収集運搬する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び運搬量等

	(特別管理)産業廃棄物の種類	運搬量 (t/月又は m ³ /月)	性 状	予定排出事業場の 名称及び所在地	積替え又は保管を行う 場合には積替え又は 保管場所の所在地	予定運搬先の名称及び 所在地 (処分場の名称及び所在地)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						

備考

- ・ 取り扱う（特別管理）産業廃棄物の種類ごとに記載すること。
- ・ 排出事業場、積替え保管場所又は運搬先が豊田市内となるように計画すること。
- ・ 排出事業場、積替え保管場所又は運搬先が豊田市外の場合は、申請者の運搬先の都道府県等の許可証の写し又は許可申請書（受付印のあるもの）の表紙の写しを添付すること。

3. 運搬施設の概要					
(1) 運搬車両一覧					
	車両の名称	形式・寸法	自動車登録番号	最大積載量 (kg)	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
事務所の所在地					
駐車場の所在地					
(2) その他の運搬施設の概要					
運搬容器等の名称	用途	容量	備考		
(3) 積替え又は保管施設の概要					

運 搬 車 両 の 写 真

自動車登録番号		車体の名称	
前 面 の 写 真	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の前面（真正面）を撮影すること。 ・ナンバープレートが確認できること。 		
側 面 の 写 真	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の側面（真横）を撮影すること。 ・名称等の車体の表示が確認できること（既に許可を有している場合には所定の事項が表示されていること。）。 		
		撮 影	年 月 日

（日本工業規格 A列4番）

運 搬 容 器 等 の 写 真

運搬容器等の名称		用途	
<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容器の全体が写るように撮影すること。 			
			<p>撮 影 年 月 日</p>

運搬容器等の名称		用途	
<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容器の全体が写るように撮影すること。 			
			<p>撮 影 年 月 日</p>

保 管 計 画 書

産業廃棄物の 種 類	保 管 方 法	保 管 面 積 (m^2)	保管容積 (保管上限) (m^3)	保管 高さ (m)	備 考
合計 品目					
所在地		管理責任者			
全体面積	保管面積 (合計)		保管容積 (合計)		
	m^2	m^2	m^3		

(注) 保管施設が複数ある場合は、それぞれについて作成すること。

保管施設の平面図、立面図、構造図及び数字の根拠となる資料を添付すること。

(日本工業規格 A列4番)

4. 収集運搬業務の具体的な計画（車両毎の用途、収集運搬業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）

・車両毎の用途

・収集運搬業務を行う時間

時 分～ 時 分

・休業日

・従業員数内訳

年 月 日現在

申請者又は 申請者の登 記上の役員	政令第6条の10 で準用する第4 条の7に規定す る使用人	相談役、顧問 等申請者の登 記外の役員	事務員	運転手	作業員	その他	合 計
人	人	人	人	人	人	人	人

(日本工業規格 A列4番)

5. 環境保全措置の概要

(1) 運搬に際し講ずる措置

(2) 積替え又は保管施設において講ずる措置

(3) その他

事業の開始に要する資金の総額及びその資金の調達方法を記載した書類

内 訳		金 額 (千円)
事業の開始に要する資金の総額		
	土 地	
	事 務 所	
	収集運搬車両	
	積替保管施設	
調 達 方 法	自 己 資 金	
	借 入 金	
	(借入先名)	
	そ の 他	
	増 資	

備考 内訳欄の事項については、事業計画に応じ適宜変更すること。

資 産 に 関 す る 調 書 (個人用)

年 月 日現在

資産の種別	内 容	数 量	価 格、金 額 (千円)
現金預金			
有価証券			
未収入金			
売掛金			
受取手形			
土 地			
建 物			
備 品			
車 両			
そ の 他			
資 産 計			
負債の種別	内 容	数 量	価 格、金 額 (千円)
長期借入金			
短期借入金			
未払金			
預り金			
前受金			
買掛金			
支払手形			
そ の 他			
負 債 計			

(法人用)

経理的基礎申告書(営業実績が3年間以上ある法人)

この申告書に記載の上、中小企業診断士による診断書の有無を確認してください。

業者名： _____

担当名： _____

	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月
純資産合計 ①			
負債及び純資産合計 ②			
自己資本比率 (①÷②×100)			

※ 貸借対照表より転記すること。

	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平均値
経常利益金額等				

※ 経常利益金額等とは、損益計算書の経常利益の金額に販売費及び一般管理費の減価償却費の額を加えて得た数字をいう。

直前期の 自己資本比率	直前3年間の 経常利益金額等 の平均値	直前期の 経常利益金額等	中小企業診断士の診断書			
			収集運搬業		処分業	施設
			積保なし	積保あり		
10%以上	黒字	黒字	×	×	×	×
	黒字	赤字	×	×	×	×
	赤字	黒字	×	×	×	×
	赤字	赤字	×	×	×	×
0%以上 10%未満	黒字	黒字	×	×	×	×
	黒字	赤字	×	○	○	○
	赤字	黒字	×	○	○	○
	赤字	赤字	○	○	○	○
マイナス	黒字	黒字	×	○	○	○
	黒字	赤字	×	○	○	○
	赤字	黒字	○	○	○	○
	赤字	赤字	不許可	不許可	不許可	不許可

※ 表の「○印は診断書が必要」「×印は診断書が不要」を示す。

(個人用)

経理的基礎申告書(営業実績が3年間以上ある個人)

この申告書に記載の上、中小企業診断士による診断書の有無を確認してください。

業者名： _____
 担当名： _____

	平成 年 月	備 考
資産合計 ①		
負債合計 ②		
資産－負債 ③ (①－②)		

資産に関する調書

資産種別	内容	数量	価格、金額
現金預金			
有価証券			
未収入金			
売掛金			
受取手形			
土地			
建物			
備品			
.			
.			
.			
資産合計			①

負債の種別	内容	数量	価格、金額
長期借入金			
短期借入金			
未払い金			
預かり金			
前受金			
支払手形			
.			
.			
負債合計			②

	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月
納税済額			

※納税証明書(その1)で確認してください。

資産－負債 ③	直前3年間の納税状況	中小企業診断士の診断書			
		収集運搬業		処分業	施設
		積保なし	積保あり		
プラス(0以上)	毎年、所得税を納税している。	×	×	×	×
プラス(0以上)	所得税を納税していない年がある。	×	○	○	○
マイナス	所得税を納税している年がある。	○	○	○	○
マイナス	所得税を毎年納税していない。	不許可	不許可	不許可	不許可

※表の「○印は診断書が必要」「×印は診断書が不要」を示す。

誓 約 書

申請者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第5項第2号イからへまでに該当しない者であることを誓約します。

平成 年 月 日

申請者

住 所

氏 名

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

印

豊 田 市 長 様